

R8第1回やまなしKAITEKI住宅普及促進部会 会議録

2026/6/18 16:00~18:40

出席者

一般社団法人山梨県建築士会	秋山 洋一
甲斐縁隊	芦澤 正仁
甲斐縁隊	早川 勝
一般社団法人自然エネルギー普及協会	平賀 正
一般社団法人自然エネルギー普及協会	横内 友子
チームゼロ山梨	志村 仁
一般社団法人山梨県木造住宅協会	中村 伊伯
山梨住宅ナビ	天野 睦夫
山梨住宅ナビ	塩谷 英之
楽住/RAKUSU	卜部 良太郎
公益社団法人山梨県建設技術センター	小川 裕之
公益社団法人山梨県建設技術センター	福島 順子
オ YKK AP株式会社	川崎 雅仁
オ YKK AP株式会社	伊早坂 健二
オ 一般社団法人住宅ストックグリーン化推進協議会	永関 英文
オ 株式会社Vent計画設計室	遠藤 千春
県建築住宅課	

■やまなしKAITEKI住宅/FORETの普及促進についての意見	
1	県産木材を取り扱う施工業者を増やす上でネックになっていることの一つに、柱に杉材を嫌う傾向があり、ヒノキ材を選ぶことになるが県産のヒノキ材はやや割高感が強い。県産の杉材は強度的に十分だが、杉材の釘の入り方などの感触のイメージから山梨県の大工は杉材を嫌う傾向が強く、このマインドを変えていくことが必要。
2	以前に比べて県産木材は扱いやすくなっている。価格についても、柱をヒノキ、梁を杉にしたプランで、外国産・他県国内産と比較したがかなり差が無くなってきている。さらにチャンスとすれば、外国産や集成材の価格上昇が現在進行形で進んでいるため、こうした材を使っている施工業者にとっては早く県産木材へ転換することが経営上も重要になるのではないかと。(ウッドショックの際には県産木材への転換の流れができたが、今またもとに戻ってしまっている。)
3	県産木材を取り扱っていない施工業者に県産木材を使ってもらうための方法の一つに、流通プロセスを変えてもらうという方法があるが、慣れ親しんできた流通プロセスを変えろというハードルはかなり高いと思われる。
4	県産木材を取り扱っていない県内施工業者と話をすると、未だに県産木材はすごく高く、質が悪いと思われる方が多い。それは10年以上前の話で、今は価格も改善され、質が良いことも証明されつつある。実際に県外施工業者と話をすると山梨のヒノキはすごく良いと評価されている。この点について県がもっと主導してプロモーションすべきと思う。
5	県産木材の質の証明には、ヤング係数など数値データで外国産・他県国内産としっかり比較できるものを公が用意していく必要がある。また、こうした数値データの比較情報を消費者向けにわかりやすく示していく必要がある。
6	FORETの補助金の利用に際して、どこにどのくらい県産木材を使えば補助金をもらえる量になるかということがわかりにくい。目安が示せると良いかもしれない。例えば、柱と土台と構造用合板で5㎡になりますよというような資料。

■ポータルサイトへの事業者一覧掲載についての意見	
1	事業者一覧の掲載イメージとして、設計・施工（いずれか）の場合と設計・施工（両方）の場合とで差がほとんど感じられない。設計・施工（両方）の場合は会費が2倍となるので、その差分のメリットを明確にした方がよい。
2	パートナーのメリットが少ない。バナー掲載は最低限基本料金の中でできるようにしてほしい。
3	パートナーについては、表形式ではなくもう少し大きめの枠を用意してほしい。
4	パートナーについては、できるだけ目に付く場所にバナーを掲載してほしい。

■その他	
1	将来的にはやまなしKAITEKI住宅の事前確認・認定について電子申請ができるようにしてほしい。